



保健だより

令和8年5月号

丸森ひまわりこども園

4月は環境の変化と季節の変わり目で疲れやすく、発熱したり、鼻水や咳の症状が出るなど体調を崩しやすい時期です。また、新型コロナウイルス感染症・感染性胃腸炎・ヒトメタニューモウイルス感染症に罹患したお子さんがいます。

5月の連休明けも生活の切り替えで体調を崩しやすくなっていると思います。自宅での様子や体調の変化など登園時にお伝えください。こども園でも健康観察を丁寧に行い、体調の変化に注意していきたいと思っています。

昨年度、全国保育園保健研究大会に参加し、小児科医（埼玉県立医療センター 菅沼 栄介先生）より『感染症・予防接種のアップデート』について学ぶ機会がありました。保護者の方とその内容を共有し、感染症予防に役立ていただきたいと思っています。

○予防接種とは

- ・個人の健康を守る
- ・集団を守る
- ・感染症（天然痘・ポリオ・麻疹）を撲滅
- ・がんを予防（子宮頸がん）
- ・生まれてくる子供を守る（風疹、B型肝炎、RSウイルス、百日咳）



予防接種の目的・役割を正しく理解して、必要な予防接種を忘れずに受けるようにしましょう！

○抗生剤が効かない百日咳が増えています

全世界で耐性菌が増えてきているようです

風邪には抗菌薬は効かないので、むやみに抗生剤を出してもらう事は避けましょう。

必要な時に、必要な量、必要な期間抗菌薬を投与していくことが大切です。

全国的に麻疹（はしか）が流行しているようです。
治療よりもワクチンで予防することが何よりも重要です。
予防接種がまだの方は、早めに受けるようにしましょう。

《歯科検診の日程について》

6月10日（水）10:00～ 幼稚園児と3・2・1・0歳児

6月11日（木）10:00～ 5・4歳児

*朝の歯磨きを忘れずにして来てください。

*当日都合が悪くて出席できない場合は、早めに担任にお知らせください。

《こども園での処置について》

『傷の手当については、傷に付着した細菌や土や砂などの付着物を洗い流すことで治りが促進されることから、水道水や時にはハンドソープを使って傷口を洗い流すことが主流となっています』

①転んだ時などのすり傷

水道水で傷を洗い、止血を確認後血液が付着する場合だけ絆創膏やガーゼで保護するようにしています。

*帰宅後に、絆創膏やガーゼをはがして、化膿していないか、出血していないか等を確認するようにしてください

②虫刺されや打撲

保冷剤でしっかり冷やすようにしています。

③発熱

冷却ジェルシートを貼付しても体温を下げる効果はありません。窒息事故や皮膚がかぶれるなどの報告もあるため使用しません。

*手や足が冷たい時は、寒が続いているため熱が37.5℃以上であっても冷やさず、靴下を履いたり上着を着たりして身体を温めるなどの工夫をしています。